

# Rikkyo Club of Executives & Professionals

## 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

### 立教経済人クラブ第31回定期総会



平成23年6月1日(水)午後6時00分より、毎年恒例となりました「立教経済人クラブ第31回定期総会」が、日比谷松本楼にて開催されました。

第一部の定期総会は、会員87名の出席をいただき、総務委員安食正秀氏(S61営・株式会社アセットアドバイザー代表取締役)が司会者となり開会を宣言、会則第11条により、議長に会長である和田成史氏(S50営・株式会社オービックビジネスコンサルティング代表取締役社長)が指名されました。

東日本大震災の被災者の方々への黙祷は、参加者が一人でも多い懇親会の冒頭で行う旨、会長ご挨拶も懇親会の席で行う旨をお伝えし、早速審議に入りました。

第1号議案：2010年度事業報告については事務局局長である中島弘人氏(S57経・株式会社東海リライアンス代表取締役社長)より、東日本大震災の影響で3月11日以降に実施できなかった事業があるものの、特に昨年秋に「立教経済人クラブ創立30周年記念式典」が盛大に実施できたことを中心に、資料記載の通り28事業が運営され、いずれの事業も盛況のうちに終了したとの報告がありました。

続いて第2号議案：2010年度決算報告を守屋財務委員長から、当期収入合計10,340,213円、当期支出合計11,939,595円、当期収支差額-1,599,382円、基本金組入額0円、次期繰越収支差額3,714,019円、また、「貸借対照表及び財産目録」(本誌掲載)で、正味財産合計16,505,182円、基本金13,340,000円との報告がありました。当期収支差額が負であることについては、創立30周年記念式典の開催に約2,000,000円を支出したためである旨、補足がありました。

監査委員長北岡修一氏(S55営・東京メトロポリタン税理士法人代表社員)から、収支及び財産状況は正しく示されている旨の監査報告がありました。議長が第1議案・第2議案について諮ったところ、満場一致で承認されました。

引き続き、第3号議案：2011年度事業報告案を中島事務局局長から提案されました。

それに伴う第4号議案：2011年度予算案については、守屋財務委員長より、収支計算書(予算案)の提示がありました。特に、2011年度予算案には、東日本大震災の被災者の方々への義援金として、立教経済人クラブから1,000,000円を校友会に寄

付し、立教大学が関連団体からの寄付をとり纏めて校友会から被災地支援を行う予定がある旨、中島事務局局長から補足がありました。

第3号議案、第4号議案について議長より諮ったところ、満場一致で承認され、出席いただいた方々のご協力をもってすべての審議が滞りなくスムーズに進行致しました。

午後6時20分より、第2部となる講演会が開催されました。

和田会長からのご紹介により、外交ジャーナリスト、元NHKワシントン支局長の手嶋龍一様に、「苦難のさなかのリーダーシップを考える～東日本大震災とビンラディン襲撃」と題して、ご講演を頂きました。

「インテリジェンスとは単なる極秘情報ではなく、一国のリーダーが重要な決断を下すのに依拠するものである。日本ではインテリジェンスは情報と訳されるが、インテリジェンスとインフォメーションは似て非なるものである。インテリジェンスとは膨大な情報の山から貴重な情報の原石を選び抜いてその真贋を確かめ、周到な分析を加えて、全体像を描き出すためのものである。」との言葉に、未だ見通しの出来ない日本の原発や政局について、ここに問題の本質があるように聞こえました。

講演後も懇親会の出席を賜れるとの事でしたので、質疑は懇親会でお願いすることとし、講演会を終了いたしました。

午後7時20分より、第3部の懇親会となりました。立教大学校友会副会長 小出康之様、立教大学統括副総長 白石典義様、立教学院理事長 糸魚川順様を始め、各学部長・教授、天沼校友会レディスクラブ会長、三輪校友会レディスクラブ副会長、砂田マスコミ立教会会長、マスコミ立教会伏見事務局局長ほか、ご来賓22名と、

懇親会から参加のメンバーを加えて出席者は117名と多数になりました。

まず始めに、東日本大震災では想像を遥かに超える被害で、大勢の方が亡くなりました。犠牲者の方々のご冥福を祈り、出席者全員で黙祷をささげました。

開会のご挨拶として経済人クラブ和田会長より、被災者へのお見舞いの言葉と、復興に対する祈念の言葉がありました。また、全ての議案が承認

され総会が無事に終了した旨や、経済人クラブは、若い世代の入会を求め、世代や、企業や、業種を超えた交友力が高め、会員相互が融合し協力できる環境を目指したい。との挨拶をいただきました。

ご来賓を代表し、立教大学白石統括副総長から、大震災に関連して、帰宅困難者4500名を引受けたこと、第一食堂からおにぎり4000個が無償提供されたこと、学生に直接の死傷者がなかったこと、卒業式、入学式が中止になったことの報告がありました。

また、復興支援については、中長期的な復興支援活動指針が策定され、支援本部が設置されたこと、ボランティア支援、入学費や学費等の支援、震災に関わる新規研究が行われることの報告がありました。そして最後に、惜しかった野球部と全日本で活躍した水泳部等について報告がありました。

続いて、立教学院糸魚川理事長からは、募金委員長としての報告として、立教未来計画に基づく募金が、2年で20億円以上(目標50億円)も集まったことへの感謝のお言葉と、片岡募金室長の紹介と、引き続き募金の継続に対するお願いがありました。

その後、経済人クラブから、総会で承認を受けた義援金の目録が、和田会長から糸魚川理事長へと贈呈されました。続いてご来賓各位をご紹介した後、新たに経済人クラブの一員となった新入会員も多数参加されましたので、ご紹介致しました。

稲川景一(S48社 ㈱協進印刷 取締役社長)  
山本哲郎(S51営 山本公認会計士事務所 所長)  
芦田祐子(S56営 芦田祐子税理士事務所 所長)  
柳沢学(S58教 ㈱プライダル・アシスト・インターナショナル 代表取締役)  
梅村吉博(S62営 東京経営労務研究所 代表)  
辻口寛一(H1心 クロスロード㈱ 代表取締役社長)  
長谷川章博(H12物 AXLBIT㈱ 代表取締役)  
加藤三紀彦(H20院ビ ㈱サーチ24 代表取締役)  
佐々昌夫(H22院ビ ㈱佐々タテニス企画 専務取締役)

暖かい拍手の中で新メンバーを迎えることが出来ました。

小出校友会副会長より、本年4月に田尾交友会長が会長に選任されたとの報告を頂いた後、乾杯のご発声を頂きました。

久しぶりにお顔を拝見した同友、松本楼の美味しい食事とお酒により大変話が盛り上がり、会場各所で大いに笑い、情報交換に華が咲きました。

お酒も進み、さらに会場が盛り上がる中ではありましたが、最後に、中島一彰様(S41営 ㈱インベストメントインターナショナル代表取締役)のご挨拶をもって大学の益々の発展と会員企業の隆盛、各位の健勝を願いながら閉会いたしました。

—安食 正秀 S61 営—



2011年度第1回理事会

去る5月11日、新橋亭において2011年度の第1回理事会を開催致しました。和田会長は冒頭のご挨拶において、まず東日本大震災で被災された方々へのお悔やみを述べられました。

また当クラブの運営については、2010年度には多くの新人が入ったところを紹介して多くの世代を重ねていくことが重要だと話され、立教経済人クラブの活動を活発にすることで立教の良さを広めていきたいと述べられました。

続く審議では6月1日に開催する第31回総会の資料のついて審議され承認されました。

その中で特筆すべき議題としては、東日本大震災に対する義援金を当クラブからも支出する件が協議・審議され、理事会としては100万円を校友会を通して寄付することが決定され、総会に上程することが決定されました。

続く懇親会では新橋亭の美味しいお料理をいただきつつ、会長以下出席して下さった顧問、副会長、理事、委員長の皆さんからそれぞれの近況報告や最近思われていることなどについて話をして頂き和やかなうちに締めとなりました。

当日ご出席頂いた方々は以下の通りです。(敬称略)

- 会 長 和田成史
- 顧 問 長谷川正二郎、鈴木紀子、倉石 昇、井上雅由、瓦林聖児、  
谷田 権、吉見善夫、中島一彰
- 副会長 伊藤 守、梅田憲司
- 理 事 中島淑夫、富澤麻利子、杉本隆洋、山口 昇
- 委員長 井口一世、中原凡子、戸張則博、守屋裕之、安東隆司  
長倉一裕、藤田聡、徳澄範光
- 事務局長 中島弘人

以上24名  
—中島 弘人 S57 経—

2011 度 予算書  
収支計算書  
自2011年4月1日 至2012年3月31日

| 科 目           | 予 算 額      | 前年度予算額     | 差 異        | 備 考        |
|---------------|------------|------------|------------|------------|
| I. 収入の部       |            |            |            |            |
| 1. 会費収入       | 4,170,000  | 4,170,000  | 0          | 3月末会員数417名 |
| 1. 入会金収入      | 250,000    | 300,000    | -50,000    | 前年入会数 35名  |
| 3. 研修等会費収入    | 3,090,000  | 2,914,000  | 176,000    |            |
| 4. 広告収入       | 600,000    | 600,000    | 0          |            |
| 5. 預金利息収入     | 30,000     | 30,000     | 0          |            |
| 6. 雑収入        | 0          | 0          | 0          |            |
| 当期収入合計        | 8,140,000  | 8,014,000  | 126,000    |            |
| 前期繰越収支差額      | 2,714,019  | 2,313,401  | 400,618    |            |
| 収入合計          | 10,854,019 | 10,327,401 | 526,618    |            |
| II. 支出の部      |            |            |            |            |
| 1. 研修等会費支出    | 3,200,000  | 3,114,000  | 86,000     |            |
| 2. 人件費        | 1,750,000  | 1,900,000  | -150,000   |            |
| 3. 交通費        | 290,000    | 300,000    | -10,000    |            |
| 4. 通信費        | 250,000    | 200,000    | 50,000     |            |
| 5. 事務費        | 440,000    | 410,000    | 30,000     |            |
| 6. 会報費・HP 費   | 1,350,000  | 1,260,000  | 90,000     |            |
| 7. 名簿作成費      | 710,000    | 676,000    | 34,000     |            |
| 8. 雑費         | 150,000    | 154,000    | -4,000     |            |
| 10. 予備費・繰入金支出 | 1,000,000  | 0          | 1,000,000  | 東日本大震災見舞金  |
| 当期支出合計        | 9,140,000  | 8,014,000  | 1,126,000  |            |
| 当期収支差額        | -1,000,000 | 0          | -1,000,000 |            |
| 基本金組入額        | 0          | 0          | 0          |            |
| 次期繰越収支差額      | 1,714,019  | 2,313,401  | -599,382   |            |

注. 資金の範囲及び収支差額は手元現金、普通預金、郵便貯金で構成されています。  
注. 重要な会計方針等の注記については省略しています。  
注. 会費収入予算は、毎年3月31日現在の会員数で作成しています。

立教経済人クラブ第 31 回定期総会 講演

苦難のさなかのリーダーシップを考える  
～東日本大震災とビンラディン襲撃～

外交ジャーナリスト、元NHKワシントン支局長  
手嶋龍一氏



◆5月1日にビンラディンがアメリカ海軍の特殊部隊により殺害されたが、作戦の成否は実働部隊ではなく事前のインテリジェンスの戦いにかかっていた。アメリカは1万人以上のテロリストとその予備軍から情報を収集し、テロリストのマトリックスを作成した。そのうえで、各人の証言に矛盾点があれば徹底して分析を進めた結果、最終的にビンラディンの連絡役を突き止めることに成功したのである。  
オバマ大統領はこれらの情報＝「インテリジェンス」に基づき、政治生命を賭けて作戦実行に踏み切ったのであった。

◆インテリジェンスとは単なる極秘情報ではなく、一国のリーダーが重要な決断を下すのに依拠するものである。日本ではインテリジェンスは情報と訳されるが、インテリジェンスとインフォメーションは似て非なるものであ

る。インテリジェンスとは膨大な情報の山から貴重な情報の原石を選び抜いてその真贋を確かめ、周到な分析を加えて、全体像を描き出すためのものである。

◆インテリジェンスは単に秘密を明らかにするだけではなく、ミステリー＝近未来に挑むものでもある。決断を委ねられたリーダーが適確に判断を下すためには、情報収集→情報分析→情報精査(簡潔な報告書にまとめる)→カスタマーというインテリジェンス・サイクルをまわしていかなければならない。

◆戦後日本は軽武装・経済重視の政策をとり、アメリカと同盟関係にあることで軍事・外交をワシントンに委ね、ギリギリの局面で決断を下す状況を免れてきた。インテリジェンスを駆使する必要に迫られなかったのである。その結果、日

本は独自の対外的な情報機関を持たず、耳の短いウサギと看做され、アメリカからは伍しやすい相手と思われる。残念なことに、3月11日の震災、福島原発の政府の対応を考えると、精査された情報が総理に伝わらず、また原子力保安院も総理を十分に補佐できないまま被害の拡大を見過すことになった。日本の総理大臣はリーダーとして最終決断する資質が欠けており、日本のインテリジェンスが機能していないと言わざるを得ない。

◆アメリカの核戦略研究家アルバート・ウォルステッター氏は「想像すらできない事態を想定し備えておけ」と核の時代の語り部として唱えていた。未曾有の大震災・原発事故を経験し、私たちは危機に望む者の最期の拠り所として、同氏の「Think Unthinkable」という言葉を肝に銘じなければならないだろう。

—安食 正秀 S61 営—

# “フェイスブック”って何？

最近巷で、「フェイスブック」という言葉をよく耳にするかと思います。  
ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)と呼ばれる通信サービスの一種で、  
驚くべきスピードと伝播力でそのネットワーク網を広げています。

## 1. 背景、歴史

正式名称は「Facebook」といい、2004年にアメリカでハーバード大学生が、その大学内での交流を図るサイトとして開始しました。徐々に他大学にも開放し、全米の大学を2005年中に制覇。2006年初頭に全米の高校生に開放され、その年の9月に一般に開放されて以降、国境を越えて急速に伝播進行中です。日本に上陸(日本語化された)したのは2008年5月、今やビジネスシーンでも、学生の会話にも話題に上るものとなっています。

## 2. 驚くべき利用者数

それでは、どれくらいすごいのか、数字で見ましょう。下記のグラフは、全世界・日本でのアカウント数(登録者数)を示したものです。2011年7月現在で、全世界総人口は約70億とされています。実にその10%が、Facebookに登録しているのです。しかもわずか8年弱という期間の中で!日本は未だ人口比3%程度と、普及率がもう一つですが、考えられる理由としては、mixi(ミクシー:アカウント数 約2,300万)という同種の競合サービスが普及している為と思われますが、ここにきて急速な伸びを見せています。

## 3. 何ができる? 特徴

ネット上に緩やかなコミュニティを形成し、日記を書いたりコメントをつけたりしてコミュニケーションを深める。知人同士が親交を深める場をインターネット上に提供すると同時に、新たな出会いの場としても機能するものです。ネット上の掲示板との違いは、コミュ

ニケーションする利用者同士は、お互いが承認し合った者同士であることです。さらにmixiなどの同種サービスとの最大の違いは、利用者が実名を晒すことです。個人情報保護法の影響で、ネット上に個人情報晒すことに違和感を覚える人が多いことも、日本でFacebookが今ひとつ普及しなかった要因と推測できます。

## 4. 影響例

上記で紹介した程の人数が関わっているとなると、一体どういうことが起きてしまうのか? 23年間の独裁政権が続いていたチュニジアで、それを崩壊に至らしめた民主革命の情報伝搬ツールとして、Facebookが一役買ったと言われています。またチュニジアの直後、隣国のエジプトでも同様に暴動が起き、当時のムバラク大統領が辞任に追い込まれています。チュニジア、エジプトとも、言論統制が敷かれることにより、長く独裁政治を維持してきました。そこにFacebook(注1)は風穴を開けてしまったわけです。

(注1)Facebookは重要な役割を担いましたが、同種の他のサービス(twitter等)も同様に活躍しました。

## 5. 利用シーン善し悪し

人間は言うまでも無く、自分以外の人間との繋がりが、コミュニケーションにより、様々なシナジーを生み出しています。Facebookは、そういった人と人の繋がりを可視化することで、さらなるシナジーを生み出していると言えます。

強力な伝播力を生み出す力は、登録者のプロフィールや友達関係から、「友達かも?」とFacebookが繋がりを作ろうとしてくれるところです。全般的な外れなケースも多々ありますが、時に連絡先を失ってしまった知人と巡り合うことができるのです。

一方、発祥国であり最高普及率のアメリカ(注2)では、一般生活のインフラレベルにまで浸透しているため、ネガティブな面での利用例も報告されています。プロフィール、行動履歴や交友関係が可視化される為に、離婚訴訟の5件に1件で、Facebookが証拠として使われているようです。

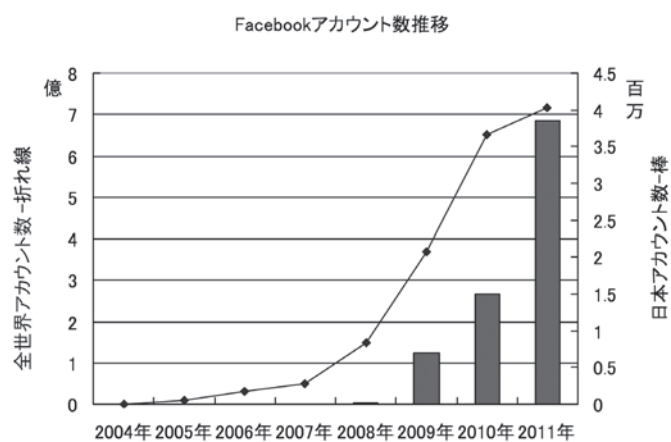
(注2)Facebookのアカウント数(13歳以上が登録可能)の人口比が、約49%。

人口構成比を踏まえると、ほぼ3人に2人は利用者と言えます。

## 6. 経済人クラブ ファンページ

節度を守った使い方をすることで、Facebookの利用に問題があるとは思えません。そこで、当クラブとしては、会員相互の交流機会を創出したり、より深める為のツールとして、積極的に活用していきたいと考えております。具体的には、下記のように公式ホームページとリンクを張った、ファンページというサイトをFacebook上に新設します。Facebookにアカウントを持ち、このサイトに対して「いいね!」というアクションを取った当クラブ会員であれば誰でも投稿可能とします。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

—徳澄 範光 S62数—



## 公式ホームページ



## ファンページ (今回新設)



## 節電の話

東日本大震災の影響で、今日は「節電」が大きな社会現象となっています。

もう25年ほど前、私がドイツ(当時西ドイツ)に住んでいた時のお話ですから、現在はどうか分かりませんが、その質素な生活ぶりに驚いたことがありました。

私が訪ねた家庭では、多くが夜リビングなどに電気をつけず、キャンドルをともしていました。暗い中でテレビを見るわけですが、日本流に「暗い中でテレビを見ると目が悪くなるんじゃないの?」というのと、「明るいものを見るのに電気はいらないだろう」という返事。電気節約できますね。日本のような暑さはないので、当然家庭にエアコンはありません。扇風機もあまり見かけませんでした。また当時からオール電化のキッチンが多くありましたが、いつもピカピカ!これがドイツの主婦の勤勉さか、と思ったら「あまり使わない」と言われました。暖かい夕食が出てくるのは週に数回。普段のご家庭に行くとパンの上にハムなどをのせたものを食べている家庭が多かったですね。夜街に出てネオンサインはほとんど無し。夜は飲食店以外のお店は開いていませんでした。有名なアウトバーンでも街路灯はほとんどありません。当時でも「日本人は本当に贅沢だな」と思える暮らしぶりでした。それぞれのお国で事情は違いますが、節電には生活習慣を変えることも必要かもしれません。

—田中 善之 S57法—



## 再現! 創立30周年記念式典 誌上ビジネスPRブース(順不同)

### 株式会社毎日コムネット

伊藤 守 S49 観

#### 「学生から社会人へ」のサポートで新ビジネスを展開

1970年代末、大学生のサークル活動興隆を背景に学生の合宿・研修に特化した旅行業から端を発し、1990年代には首都圏大学進学者の増加を受けて「学生専用マンションの開発、運営」を柱とした不動産業を展開。現在、都内中心に167棟約7000室の学生マンションを管理するに至っています。

そして2000年代に入って今、注力しているのが大学生の就職支援事業です。バブル崩壊以降長く続いた就職氷河期は、企業の経営基盤が安定するにつれ「コア人材採用」「厳選化」という形で復活してきています。一方では早期化しすぎた就職活動開始を遅らせる、つまり就職活動が短期化されていきます。この変化の中で重要になるのは何でしょうか。

「学生時代は社会人になるための準備期間でもある」ことは間違いなことです。しかし、何がその準備になるのか。これからは表面的な就職活動以前に、本質的に「自分が働く」ということを真剣に考える機会を学生に提供していくことが求められると、当社は考えています。今春、このコンセプトを具現化する新サービスを「Campusキャリア」というブランドで本格的に事業展開を開始しました。

<http://campuscareer.jp/>

インターンシップ、アルバイト、留学、資格取得、課外活動支援といった情報提供にとどまらず、登録会員向けのさまざまな「自分を磨くセミナー」を毎週開催しています。

去る7月10日には都内でイベントを開催。各業界を代表する企業の現場社員による「働く」を学ぶセミナー」に多くの学生が来場しました。企業側の方々からも、真に学生の企業理解、産業理解を深める場が創設されることに多くの賛同が寄せられています。

当社は引き続き、大学生を取り巻くニーズとその変化に着目しながら、大学生市場ONLY1を目指して進んでまいります。当社の「学生をよりよい社会人として送り出す」新ビジネスにぜひご注目ください。

### 山口国際税務会計グループ

山口 登 S57 経

日本と米国の税法を踏まえたうえでのご提案をします。

☆ハワイ州への事業進出

☆不動産投資・金融資産の運用

☆相続・贈与対策

☆日米個人・法人確定申告書作成

昨今の「円高ドル安」の環境下では、円(日本)からUSD(アメリカ合衆国)への投資には良いタイミングだと思います。一方、最近の日本の税務調査は海外財産に注目しています。

例えば貴方様がハワイで不動産を購入する場合、ハワイの不動産業者の方々も様々なアドバイスをしてくれますが、そのアドバイスはあくまでも米国人を対象としたものであり、貴方様が日本人であることを前提としていませんし、日本の税法は知りません。従って購入名義などについてしっかりとした準備をせず、ハワイの不動産業者の方々へのアドバイスについて何ら検証もなく言われた通りに購入してしまうと、後日になって日本の税務署から申告漏れや追加納税指摘されるケースとなりかねません。

そのようなこととならぬよう、様々な事例を経験している当社へぜひ事前にご相談下さい。

【立教経済人クラブ会員様への特典】  
経済人クラブ会員様に限り、当初ご相談は「無料」とさせていただきます。

### 若山工業株式会社

若山 晶 S50 経

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今夏は震災の影響もあり、全国的に大幅な電力不足が予想されています。当社では、伊藤忠エネクス㈱をアドバイザーに迎え、「太陽光発電システム」、次世代の蛍光灯「E-COOL」、「蓄電池システム」による深夜電力の有効活用により企業様及び一般のご家庭での消費電力の削減とともに環境貢献をお手伝いいたします。

「E-COOL」・・・一般の蛍光灯よりもサイズが細く、長寿命なためPCや液晶TV利用されている陰極蛍光ランプを通常照明用蛍光灯の代替として開発されています。点灯による発熱も抑えられるため、導入により電気を約1／2に削減、40,000時間(約10年)の長寿命対応型省エネ商品です。

「太陽光発電システム」・・・太陽光発電システムを屋上に設置し、日中の太陽光を利用して発電を行います。

つくった電気は一般利用し、余剰分は電力会社へ売電が可能です。電力削減と副収入のW効果を実現。

施工実績18,000棟以上あるエネクスグループ会社にて正確な見積を作成します。

「蓄電池&HEMS(ホームエネルギー管理システム)」伊藤忠エネクス㈱独自開発の蓄電池と制御システムをご提案。蓄電池はポータブル型製品が主流ですが、当社が進めるシステムではブレーカーと連携が可能で、停電時にも蓄電池の容量分だけ通常通り電力使用が実現できます。また、平常時は深夜電力や太陽光発電の電力を優先的に利用し経済効果も見込

めます。

【立教経済人クラブ会員様への特典】  
今夏の節電対策無料診断を実施しています。お気軽にお問い合わせください。



### サンヨー食品株式会社

井田 純一郎 S60 産



立教経済人クラブ30周年記念式典のご開催、誠にありがとうございます。

私は昭和60年に立教大学社会学部産業関係学科を卒業し、株式会社富士銀行勤務の後、平成10年からサンヨー食品株式会社の代表取締役社長を務めております。

30周年という記念すべき式典のPRブースに、当社の看板商品であります「サッポロ一番 みそラーメン」を展示させていただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。

「サッポロ一番 みそラーメン」は1968年に発売されたロングセラーブランドで、現在でも日本の即席袋麺市場にて売り上げナンバー1の商品です。またサンヨー食品は海外にも積極的に進出しており、中国・ロシア・米国・ベトナムでは現地法人を設立して即席麺の製造販売を行っています。特に中国とベトナムでは即席麺市場でナンバー1を誇っております。

さて、私は立教大学の卒業生であることを、とても誇りに思っております。現在、立教大学経済学部兼任講師や立教大学校友会代議員を引き受けており、母校立教大学のお役にたてるように努力しています。

結びに当たりまして、立教経済人クラブの益々のご発展を心より御祈念申し上げます。

### キューピー株式会社

鈴木 豊 S48 営

愛は食卓にある。キューピー

昨年の展示は、私達の「食を通じて人生を豊かに」過ごしていただきたいとの想いから、おい

しさとやわらかさにこだわり、当時リニューアルをしたばかりの「やさしい献立」シリーズと、糖尿病学、腎臓病学。自社原料であるヒアルロン酸、卵黄レシチン、コンドロイチン硫酸等を用いたサプリメントをご用意いたしました。

＜商品のご紹介＞  
キューピーやさしい献立シリーズとして、今春に毎日のおかゆをおいしく、楽しく食べていただける様、「おかゆ用の具」4品(五目ちらしの素、鮭わかめ、和風カレー、たまご丼の具)を、発売いたしました。従来品45品と合わせ、やわらかく食べやすくなっているこのシリーズを、一度お試しください。

キューピーサプリメント「ヒアルロン酸&グルコサミン【コンドロイチン配合】」には、長年のヒアルロン酸研究とお客様の声から生まれた、発酵タイプの高純度ヒアルロン酸「ヒアベスト®(J)」を使用しています。今後も、ヒアルロン酸を含め、卵などの機能性成分の研究を続けて、皆さまの美しく健やかな生活をサポートしていく商品を提供して参ります。



### ホッピービバレッジ株式会社

石渡 美奈 H2 日



東京・赤坂生まれの清涼飲料メーカーです。現在は、創業の地である赤坂に本社を、また製造工場を調布にもち元祖焼酎割り飲料のホッピーや赤坂ビール、深大寺ビールなどをはじめとした東京の地ビール各種そしてサワーの製造・販売を行っています。

選び抜かれた麦芽とホッピーを醸造発酵させて製造したホッピーは、低糖質・低カロリー・プリン体ゼロのカラダに嬉しいビアテイスト飲料です。最近では、1:5の割合を目安に焼酎で割るというベーシックなスタイルに加え低アルコール飲料として、焼酎で割らずにそのままお召し上がりいただいたり焼酎だけでなくジンやカシス、梅酒などお好みのリキユールとあわせてもお楽しみいただいております。

また今年は4月より、3.11からの東方地方、ひい

ては日本の復興・再生にむけ「いきぬこうニッポン」を合言葉にプロジェクトを開始いたしました。

皆さんに召し上がっていただく1本、1杯のホッピーが微力ながら日本の復興・再生につながるお手伝いができればと願い、ホッピービバレッジの売上の中から毎月、被災地へ義援金としてお届けしております。

昨年3月6日にはおかげさまで創業100年を迎えさせていただきました。私たちは引き続きお客様に愛し続けていただけるような商品づくり、また会社づくりに全社一丸となり努めてまいります。

### ガトーフェスタ ハラダ

原田 節子 S54 営



自社工場で製造したフランスパンは、「小麦の味を賞味するもの」といわれるほど芳しい香りの美味しさです。

そのフランスパンで作ったガトラスク「グーテ・デ・ロワ」、フランス語で「王様のおやつ」を意味する商品名通り、フランスの食文化を感じさせる贅沢で奥深いおいしさを、ぜひご賞味下さい。

期間限定で10月～5月まで販売している、ラスクの片面にホワイトチョコレートをコーティングしたグーテ・デ・ロワ ホワイトチョコレート。また、11月～4月まで販売している、ラスクを芳醇なミルクチョコレートでコーティングしたグーテ・デ・ロワ プレミアムは、まったく新しい感覚のラスクで多くのお客様から絶大な支持を得ています。

### 上原ネームプレート工業株式会社

上原 洋一 S46 院経

上原ネームプレート工業㈱は創業以来、真鍮・アルミ・SUSなどの金属製品を伝統的な技法を頑なに守り、職人による手作業にこだわる事によって、オンリーワンの製品を高いクオリティーでご提供させて頂くことを掲げております。

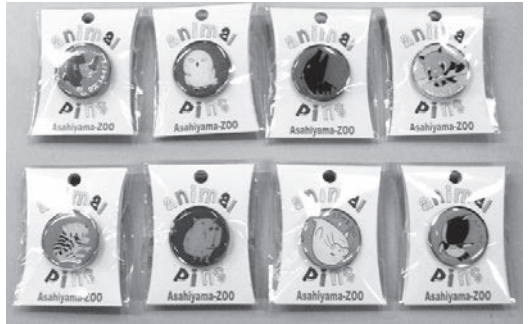
特に当社製品の中で代表的なエッチング製品は細やかなニーズにお応えできるよう、小ロットから大量生産まで対応することが出来ます。商品としては、ピンバッチ・キーホルダーなどのノベルティグッズや企業の《顔》ともいえる社章・名札・看板製作や企業表彰楯なども豊富な実績でお客様のニーズにお応え致します。

まずはお客様のイメージをお聞かせ下さい。当社営業マンがお客様のイメージを具体化するべ

く、製造業ならではのノウハウと価格でご提案させていただきます！

また当社の事業コアはエンブレム等の車輪向け内外装部品で、国内外へ提供しております。技術に裏付けられた《品質》を基本として、商品の《顔》を作り続けております。製法も多岐に渡り、樹脂成型・めっき・蒸着・塗装・組立と材料から製品までの一貫作業でタイムリーな生産体制と成っております。

営業本部企画工芸 GR ☎03-3842-2481



### 株式会社ラ・ジャッカ

富澤 麻利子 S49 教



イタリア語で「野菜」というネーミングのパールカフェ。コンセプトは「八百屋がカフェを開いたら？」毎日の食生活で不足しがちな野菜をたっぷり食べられるメニューをご提案しています。

一日の始まりは、新鮮なフルーツからテーブルの上のフルーツは彩りのインテリアその季節で一番美味しい産地をセレクト、ご近所では売っていない限定品をわがままにお取り寄せいただけます。イタリア式ライフスタイルを提案する大人のためのカルチャーサロン。自社ビル8Fに来年、多目的スペースとしてオープンいたします。

<http://www.ottima-vita.com>

上記 ホームページより、美味しい果物のネット販売をいたしております。

今回、立教経済人クラブの会員の皆様には、先着お申し込み5名様、お試しセットをプレゼントいたします。また神田錦町Bar Caffè VERDURAでは、9月までご飲食代金10%割引サービスさせていただきます。お電話でご予約ください。

☎090-4715-5003



## 特別寄稿

## “フェイスブックとゴールドマン サックスに注目!”

証券アナリスト(検定会員) 谷田 権(S35経)

2011年1月7日米のSECがゴールドマンサックス(以下GSと略)に予備調査を開始しました。

内容はGSが交流サイト(SNS)最大手のフェイスブック(以下FBと略)に自己資金で4億5,000万ドルを出資して株式を取得しましたが、SECの調査の目的は同時に設立した特別目的会社(SPV)にあります。(Special Purpose Vehicle)

第1にSECのルールでは未公開企業でも株主が500人を超えると財務諸表等の情報を開示する必要がありますが、GSではこの取得した株式(例えばこのコストを1株450ドル=コストAとします)の他にFBが(例えば1株当たり3倍の価格1,350ドル=コストB)GSの引き受けによりSPV上で資金調達し、FBが15億ドルの資金導入をする事が出来ました。

そしてこの株式の割り当て先にはGSの最優良顧客とGS自身の最高経営幹部が含まれている様です。

この15億ドルの資金調達時に何名の株主が生まれたのが取りあえず問題です。

GSはSPVは1人であると主張しています。その方がGSにとって今後のFBとの取引を独

占できるからです。

何れにせよこの資金調達でFBは時価総額であるIT革命の覇者グーグルを超えました。

第2にGSは2012年とも言われるFBの新規株式公開(IPO)時の主幹事証券の座を狙える位置に付きました。

GSでは公開前の又は公開時点のファイナンスにおいて(例えば1株13,500ドル=コストC)で公開をすることが可能でありこの場合多額の引き受け手数料の他に多くの優良顧客及び手数料の獲得更にGS自身の多額の売買益が見込まれます。

第3にはこの様な未公開企業のファイナンスの問題です。(これは他の銘柄でも多く出てきます。)この様な株主数が500人未満の未公開企業の余りにも多額の資金調達が公開されていない財務諸表で行われそれを実施する立場に一証券会社が自由に株価を説定出来るそして公開と言う一時点で公の株価に変化すると言う事です。

私自身1986年前後の現役時代に複数回この様なファイナンスの創造に関わりと同時に複数の日本の初期のベンチャーファンドに売り込

みを行ってきました。

結果はあまり良くなかった証券会社だけが大幅手数料を得た事に終わりました。

又その時代の当局のチェックは在りましたが、結果は表には出なかつたと思います。

言える事は法律による規制が追いつけない事、否常に現場の方が進んでいる事です。

全てが旨く進んでいる場合だけ結果Win Winの関係になるだけです。

今回のFBも2004年頃ハーバート大学の学生が始めたものが現在5億人もの人々が利用しています。(同じ事はツイッターでも言えますが)でもそこにIT革命の凄さがあり今日のように国家の体制が変化する“現象”が発生しています。これを金融面から見た時にもバブルの発生に近い現象が予見されます。

例えば日本の徳川時代第五代綱吉の時萩原重秀(1695～1712)が元禄及び宝永小判で+172%もの悪質小判を流通させ157トンの金を幕府が回収しました。

しかしこれが世に有名な“元禄バブル”を展開し、次の第八代吉宗の時元文小判でも+51%もの悪質小判で吉宗の“日光参行”=徳川幕府の外様大名に対する軍事威嚇行動=を実施し同時に消費経済の活発化は町人文化を発展させ(三井高利等)蔵元や札差などの台頭となりました。

この様に考えると第二次IT革命は充分バブルを形成する可能性があります。

以上からこの様に言えませんか。

“くやしかつたらバブルを創つて見る”

| 参考資料 |    | 1枚の重量 | 1両当り金重量  | 総発行枚数   |               |
|------|----|-------|----------|---------|---------------|
| 初代   | 家康 | 慶長小判  | 17.73グラム | 15.2グラム | 1.472万両       |
| 五代   | 綱吉 | 元禄小判  | 17.81グラム | 10.0グラム | 1.393万両 荻原 重秀 |
| 六代   | 家宣 | 宝永小判  | 9.34グラム  | 7.8グラム  | 1.151万両 荻原 重秀 |
| 八代   | 吉宗 | 元文小判  | 13.00グラム | 8.5グラム  | 1.743万両 日光 参行 |
| 十四代  | 家茂 | 万延小判  | 3.30グラム  | 1.9グラム  | 62万両 横浜 開港    |

元文小判は、その流通を促進する為、直前の正徳や、享保小判100枚と元文小判165枚での交換回収を実施しました。

## 『懇親会を開催し経済学部との連携を強める』

6月16日経済学部の先生方と経済人クラブのメンバーとで懇親会を行いました。経済学部からは池上経済学部長、郭総務部長はじめ5名の先生方が、経済人クラブからは中島事務局長はじめ6名のメンバーが参加し、経済学部と経済人クラブが協力して学生達のためにできることを話し合いました。

お酒も入り、若干話がわき道にそれることもありましたが、先生方の人となりもよくわかり、お互いに身近な存在となる良い機会となりました。お互いの連携を強めていき、学生達のためにできることから始めて行くことを約束して散会しました。今後も引き続き懇親を深めていく機会をつくって行きたいと思いますので、経済人クラブの皆様も是非ご参加ください。

—吉原 伸隆 H4営—





## 第59回 立教経済人クラブゴルフ会

平成23年7月18日、第59回立教経済人クラブゴルフ会が開催されました。今年も昨年同様、山元 春三さんをお願いしまして、名門 東京ゴルフ倶楽部です。

今年は梅雨明けが早かった事もあり、大変暑く厳しいラウンドが懸念されましたが、曇りがちで適度に風もあり昨年よりは多少良かったと思います。フェアウェイとグリーンはさすがに素晴らしいコンディションですが、かなりアンジュレーションがあります。またラフがキツく、バンカーも効いているので、けっこうタフなコースです。

パーティーは和田会長にご挨拶をいただきスタートです。優勝は斉藤 彰吾さん(S47 営)グロス 90 HDCP 24 NET 66 でした。準優勝は大屋 高志さん(S63 化)グロス 87 HDCP 21 NET 66 でした。斉藤さんと同スコアながら、生年月日により惜しくも準優勝となりました。優勝の斉藤さんには優勝カップと景品が和田会長から授与され、大屋さんにはクリスタル製の盾が授与されました。和やかな雰囲気の中、皆さんが景品をお選びいただいた後、田中 啓允さん(S40 営)に締めて頂きました。

最後に恒例の記念撮影でお開きとなりました。次回も皆様のご参加をお待ちしております。

—長倉 一裕 S59法—

## 委員会報告

### 活性化委員会

活性化委員会の主な仕事は、“クリスマス会”の運営・企画です。昨年2010年の“クリスマス会”は、経済人クラブ創立30周年のパーティーの直後ということもあり、参加者が集まらないという結果から中止とさせて頂きました。この場をお借りしお詫び申し上げます。

クリスマス会の運営には、参加者の集客が不可欠です。しかしながら、毎年毎年、集客数が減少し、思うような運営ができていないのが現状です。その原因としましては、時期、場所、イベント内容、会費等々が考えられますが、これと言った解決策が見

つからず、毎年、頭を悩ましております。今年の“クリスマス会”の日程は、12月13日(火)です。それに向けそろそろ準備を始める時期にきています。昨年中止となってしまったことも踏まえ、今年は、盛大な催しにしたいと考えております。会員皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

また、“クリスマス会”の内容等につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、どうぞ事務局まで、ご一報をお願い致します。

活性化委員長 戸張 則博 S54 営

### スポーツ委員会

スポーツ委員長の長倉です。活動としましては毎年、7月と11月にゴルフ会を開催しております。

7月の夏の会は連続して東京ゴルフクラブで開催しております。名門ゴルフ場でのコンペという事で毎回多数ご参加頂いています。

11月の秋の会は毎回違います。昨年は神奈川のレイクウッドGCでしたが、その前は千葉の茂原CCというようにいろいろな

地域で開催しています。

参加されている方も大先輩から平成卒まで幅広く、女性の方もいらっしゃいます。もちろん様々な業界の方々ですので異業種交流の場としても意義深いのですが、とても気軽に楽しい会です。

秋のゴルフ会でのご参加をお待ちしております。

スポーツ委員長 長倉 一裕 S59 法

### 会報委員会

会報委員会では、会報誌の発行を行っております。昨年の「立教経済人クラブ創立30周年記念式典」では、特別号として30年を振り返る特別版を制作し式典をバックアップいたしました。現在、会報誌は年3回の発行ですが、クラブの活動だけでなく、皆さまのお役に立つ情報を考え、新しい企画などを掲載してい

きたいと委員一同考えております。それに加えて、今後は、Web、Facebookなど、色々な発信手段を含めて、会員の皆様へ情報をお伝えしていけたらと思っております。

会報委員 品川 高穂 H8 経

### 産学連携委員会

産学連携委員会は今から8年前の2003年に創設されました。「産学連携」という時代の流れをいち早く感じ取り、大学との接点として、立教大学への人材の提供や当クラブ会員企業への学生の受け入れ等、人材の相互交流を中心に、大学への貢献をするために創られた委員会です。経済学部を軸としたこれまでの活動が大学側でも評価され、当クラブの学内への認知度向上に寄与しております。

2011年度の主な活動行事(予定)として、

・経済学部の正規授業である「サマーインターンシップ」の受け入れ支援(夏休み内)

・次年度以降の、経済学部の産学連携新設講座の企画と人的支援を予定しております。

★現在、委員会メンバーを募集しております。産学連携にご興味にある方は小職(fujita@v-change.co.jp)までお気軽にご一報下さい。

産学連携委員長 藤田 聡 S62 営

### 対外交流委員会

対外交流委員会は、立教経済人クラブ内の交流のみならず、他校や経済団体、立教の他団体などとの交流を図る目的として昨年度設立された、新しい委員会です。

2011-2012年度は、9月17日(土曜日)に「経済人交流ゴルフコンペ」を名門、東京ゴルフ倶楽部にて開催する予定です。ゴルフのシーズン真っ只中の9月には東京クラブで通常、ゴルフコンペ

は開催できないのですが、同理事会のご協力とご承認を頂き、開催の運びとなりました。

現在、慶應義塾大学、東京大学、京都大学、学習院大学などの経済人に方々にお声かけをさせて頂いている状況です。参加下さった方々に親睦を深め、「交流力」が向上する機会にしたいと思っております。

対外交流委員長 安東 隆司 H1 社



(敬称略)

新しく会員になられた方々

**稲川 景一** いながわ けいいち  
昭和48(1973)社  
(株)協進印刷  
取締役社長  
〒154-0023  
世田谷区若林4-39-1  
TEL:03-3412-1001  
FAX:03-3412-6204  
E-mail:inagawa@kyoshin-pr.co.jp  
業種:印刷紙器製造販売

**梅村 吉博** うめむら よしひろ  
昭和62(1987)営  
東京経営労務研究所  
代表  
〒104-0061  
中央区銀座1-27-8-703  
TEL:03-6868-4247  
FAX:  
E-mail:y.umemura@tkr-lab.jp  
業種:人事労務コンサルタント、特定社会保険労務士

**加藤 三紀彦** かとう みきひこ  
平成20(2008)院ビ  
(株)サーチ24  
代表取締役  
〒104-0061  
中央区銀座1-3-3 G1ビル7F  
TEL:03-3455-8061  
FAX:03-3455-8062  
E-mail:kato@search24.co.jp  
業種:経営支援(開業、資金管理、人材問題、増益)

**柴田 義孝** しばた よしたか  
昭和44(1969)経  
(株)グローバル総合教育  
代表取締役社長  
〒110-0016  
台東区台東4-20-9  
TEL:03-3831-5831  
FAX:03-6803-0289  
E-mail:  
業種:教育全般、不動産賃貸、インターネット

**三坂 博** みさか ひろし  
昭和58(1983)営  
共栄火災海上保険  
東京支店副支店長  
〒105-8604  
港区新橋1-18-6  
TEL:03-3504-0163  
FAX:03-3595-4001  
業種:損害保険

**森山 裕之** もりやま ひろゆき  
平成1(1989)経  
(株)アネシス  
代表取締役社長  
〒101-0052  
千代田区神田小川町3-3  
TEL:03-3292-0181  
FAX:03-3292-0186  
E-mail:moriyama@anesys.co.jp  
業種:ビルメンテナンス業



2011 年度 事業計画書

| 月 日     | 事 業            | 会 場           | 参加募集  |
|---------|----------------|---------------|-------|
| 8月      | 経済学部インターンシップ支援 |               |       |
| 9月 13日  | 第5回運営委員会       | セントポールズ会館     |       |
| 9月 17日  | 他団体交流会         | 東京ゴルフ倶楽部      | 募集します |
| 9月 21日  | グルメ会           | 未定            | 募集します |
| 10月 11日 | 第6回運営委員会       | 国際文化会館        |       |
| 20日     | 理事会            | 新橋亭           |       |
| 27日     | 朝食勉強会          | (未定)          | 募集します |
|         | 会員名簿発行         |               |       |
| 11月 8日  | 第7回運営委員会       | セントポールズ会館     |       |
| 17日     | タウンクラブ         | オークラ/パー・オーキッド | 募集します |
| 19日     | 第60回ゴルフ会       | (未定)          | 募集します |
| 30日     | 会報No.55発行      |               |       |
| 12月 6日  | 第8回運営委員会       | 国際文化会館        |       |
| 12月 13日 | クリスマスパーティー     | (未定)          | 募集します |

立教経済人クラブ ウェブサイト  
<http://www.r-keizaijin.net>

立教経済人クラブでの、過去の行事や活動はウェブサイトでご覧頂けます。  
ぜひご覧ください。

編集後記

最近立教大学OBの間で、あの300B-V(通称サンビー)が閉店するという話題で盛り上がっています。昭和50年台中盤以降の卒業生であればほとんどの方が一度はお世話になったお店だと思います。時代の移り変わりを感じる出来事でした。移り変わりといえば、もうひとつ。7月26日に開催のラグビー日本代表対トップリーグ選抜の試合に立教大学卒業(現NECグリーンロケッツ所属)の西田創(つくる)君がトップリーグ選抜のスクラムハーフとして出場しました。古豪立教大学ラグビー部は、私が現役時代は早稲田・明治等強豪校には遥におよびませんでした。近年実力をつけ、ついにトップリーグでも通用する選手を輩出する事ができました。是非とも次は日本代表を目指して頑張ってくださいと思います。感慨深い出来事でした。

— 神津 港人 H4 営 —

2年ほど前から、経済人クラブに入会し、会報の手伝いをさせていただいております。16年間立教に在籍し、人の繋がりのおかげを学んできましたが、経済人クラブでは、経済界の第一線でご活躍されている諸先輩方と接する機会を頂き、自身の励みになると同時に目標にもなり、さらに見識が広がったと思います。平成8年に大学を卒業し、世間では、まだ若手と呼ばれる世代かも知れませんが、当時と比べても、大学の規模、雰囲気は、様変わりをしていると感じます。経済人クラブは昨年30周年という節目でしたが、「立教」というキーワードでの繋がりはこちら先、30年も変わらないものと信じております。これまで支えてくださった皆様や、これから会員になるであろう若い世代のお役にたてるよう微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思います。

— 品川 高穂 H8 経 —